

がん薬物療法看護論

単位数：2単位

時間数：30時間

開講年次及び学期：1年次前期

○若崎淳子	臨床看護学講座 教授
宮下美香	広島大学大学院医歯薬保健学研究科看護開発科学講座/老年・がん看護開発学 教授
掛橋千賀子	姫路大学看護学部 特任教授
坂井淳恵	岡山ろうさい病院がん相談支援センター がん看護専門看護師
妹尾尚美	島根大学医学部附属病院外来化学療法室 がん化学療法看護認定看護師

1. 科目の教育方針

がん薬物療法を基盤に、抗がん剤治療、内分泌療法、分子標的治療及び免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)の目的と特性、治療の実際並びに薬物治療を受ける患者の体験を理解し、患者とその家族に必要な援助を提供できる能力を身につける。がん薬物療法の有害事象の予防・早期発見・早期対処を行ない、治療の継続、セルフケア支援、セルフケア能力向上のための方略、並びに治療中の生活の質を高める看護を探究し、実践展開できる知識と問題解決能力を培う。治療選択の意思決定支援、抗がん剤治療、内分泌療法、分子標的治療及び免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)に伴うエビデンスに基づく看護のあり方を学ぶ。

特定看護領域(サブスペシャリティ)に焦点を絞って学習を深める。自らの特定看護領域について目的意識や問題意識をもって授業に臨み、より質の高い看護実践ができるための知識と問題解決能力を身につける。

2. 教育目標

- 1) がん薬物療法を基盤にその目的と特性、治療の実際並びに薬物治療を受ける患者の体験を理解し、抗がん剤治療、内分泌療法、分子標的治療及び免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)を受ける患者とその家族にエビデンスに基づく看護を実践できる能力を身につける。
- 2) がん薬物療法の有害事象の予防・早期発見・早期対処を行ない、有害事象とマネジメント、治療の継続、セルフケア支援、セルフケア能力向上のための方略並びに治療中の生活の質を高める看護を実践・展開する知識と問題解決能力を身につける。抗がん剤治療、内分泌療法、分子標的治療及び免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)と看護について実践に向けた知識と臨床判断力を培う。
- 3) 治療選択の意思決定への支援、並びにがん患者とその家族のQOLの維持向上を目指したエビデンスに基づく具体的かつ専門的な看護援助について探究する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

- ・高度ながん看護実践に活用できる理論的知識を習得するとともに、看護実践上にある現象を論理的に捉えることができる思考能力の育成を目指す。
 - ・自らの特定看護領域について、より質の高い看護実践ができるための知識と問題解決能力が身につくよう、目的意識や問題意識をもって授業に臨む。
 - ・特定看護領域に焦点を絞って学習を深める。
- 1) 授業では講義の他、受講生各自のレポート内容に基づいたプレゼンテーションやディスカッションを行なう。
 - 2) 授業への臨み方

- ・がん薬物療法を受ける患者とその家族の生活の質を高める看護実践ができるための知識と問題解決能力が身につくよう、目的意識や問題意識をもって授業に臨むこと。
- ・がん薬物療法に関する最新情報を自主的に収集し、文献等から主体的に学習すること。

3) 評価

[レポート]

50% (課題レポートの内容：事例に対する問題解決思考過程を重視する。)

[プレゼンテーション]

20%

[受講態度]

30% (毎回の授業への取り組み姿勢、ディスカッション内容)

4. 使用テキスト・参考文献等

1) テキスト

国立がんセンター内科レジデント編 がん診療レジデントマニュアル(医学書院)(最新版)

2) 参考図書

渋谷正史 がん生物学イラストレイテッド(羊土社)(最新版)

制吐薬適正使用ガイドライン(金原出版)(最新版)

各がん治療に関する診療ガイドライン(最新版)

その他、適宜紹介する。

5. 教育内容

回	内容	担当
1	薬物療法に伴う主な有害事象の発生機序の理解	若崎淳子 妹尾尚美
2	薬物療法に伴う主な有害事象の出現予防、発生時の対処と看護援助：有害事象とマネジメント	若崎淳子 妹尾尚美
3	がん薬物療法における有害事象とマネジメント：事例検討	坂井淳恵
4	抗がん剤治療と看護	坂井淳恵
5	分子標的治療と看護	坂井淳恵
6	内分泌療法と看護	若崎淳子
7	免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)と看護	若崎淳子
8	がん薬物療法に伴う器質的・機能的変化：認知機能の障害	宮下美香
9	がん薬物療法に伴う器質的・機能的変化：末梢神経障害	若崎淳子
10	がん薬物療法に伴う性機能障害(女性)と看護：事例検討	若崎淳子
11	がん薬物療法に伴う性機能障害(男性)と看護：事例検討	掛橋千賀子
12	抗がん剤治療と脱毛ケア・アピアランスケア	若崎淳子
13	がん薬物療法過程におけるセルフケア能力のアセスメント	宮下美香
14	薬物療法過程にあるがん患者のセルフケア能力を高める教育的アプローチ：事例検討	若崎淳子 坂井淳恵
15	外来がん薬物療法を受ける患者とその家族へのセルフケア 支援：事例検討	若崎淳子 坂井淳恵

嘱託講師は集中講義とする。